

## 県都デザイン戦略について

## 1 目的

- ・ 本格的な人口減少・超高齢社会の到来が見込まれる中、県都福井市は、戦災・震災から60年余りが経過し、次の時代のまちづくり、都市のリニューアルを進める時期を迎えている。
- ・ また、今後数十年の間、北陸新幹線の県内延伸など、福井県にとって重要な交通インフラの整備が進展する。
- ・ 都市間競争が一層厳しさを増す中、持続可能で県民が誇りの持てる「県都」をいかに創り上げ、次世代に引き継いでいくか。30年後、50年後という長期的な視点に立って、県都の再設計（リ・デザイン）を構想していく必要がある。
- ・ そこで、県と福井市の連携のもと、都市デザインの専門家やまちづくり活動の実践者、多くの県民参加を得て、今後の県都福井のまちづくりの指針となる「ふくい県都ビジョン(仮称)」を策定する。

## 2 目標年次

2050年（中期目標年次2025年）

## 3 策定主体

福井県、福井市

## 4 対象エリア

福井市都市計画マスタープランにおける「まちなか地区」を想定

## 5 策定期間

平成24年2月～平成25年3月

## 6 策定方法

「県都デザイン懇話会」を設置し、県都のまちづくりに関するさまざまな論点について意見交換し、具体的な提案・提言をとりまとめ。県と福井市は提言に基づき、「ふくい県都ビジョン(仮称)」を策定

## 7 今後の進め方（県都デザイン懇話会の開催予定等）

[第1回] 平成24年2月3日（金）14:00～16:00

（討議内容）

- ・ 県都福井の現状と課題、今後の県都デザイン戦略検討にあたっての基本的な考え方 等

※ 第2回懇話会までに、県都デザイン戦略に関する県民アンケート調査を実施。県都まちづくりに関する県民意識・希望等を分析

[第2回] 平成24年6月頃

（討議内容）

- ・ 第1回の議論内容、県民アンケート調査結果等を踏まえた論点整理、ビジョンに盛り込む重点項目 等

※ 第3回懇話会までに、県都デザイン戦略に関する県民参加のワークショップ等を開催。広く県民から意見をいただき、その後の議論に反映

[第3回] 平成24年10月頃

（討議内容）

- ・ 第2回の議論内容、県民参加ワークショップの意見等を踏まえたビジョン骨子案について検討 等

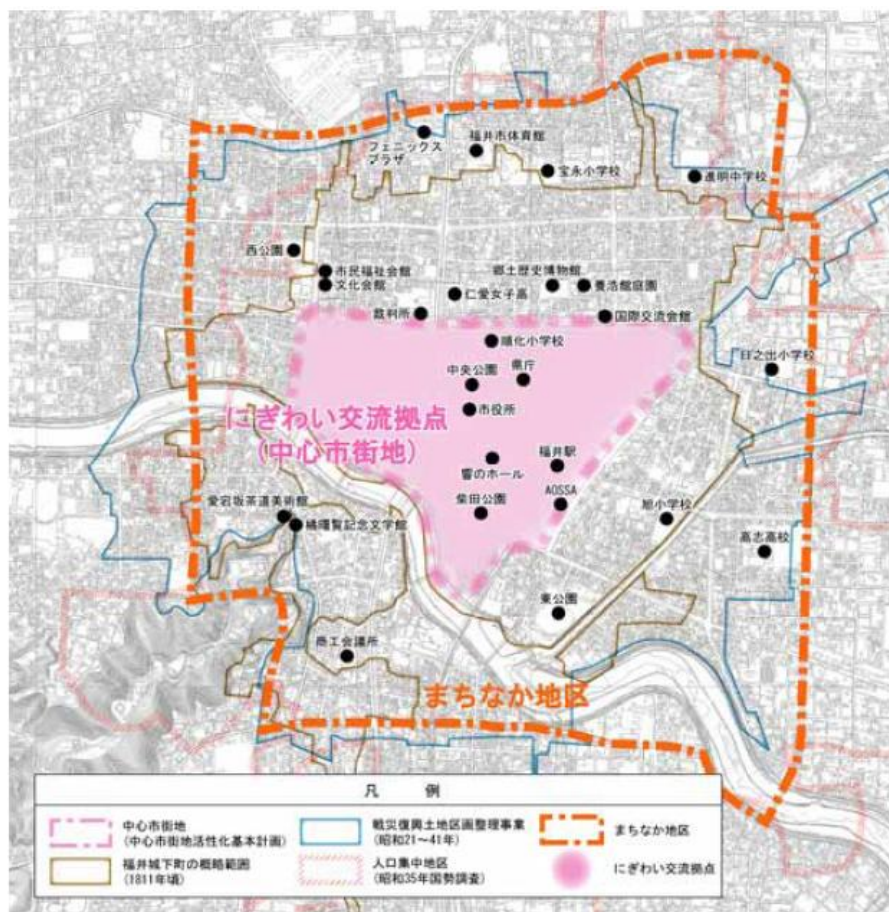
[第4回] 平成25年1月頃

（討議内容）

- ・ ふくい県都ビジョン案（提言）について検討 等

※ 懇話会の提言をもとに、年度末までに、県と福井市において「ふくい県都ビジョン（仮称）」をとりまとめ

○福井市都市計画マスタープランにおける「まちなか地区」



※中心市街地 (約 105 h a) を含む市街地の中心地区 (約 625 h a)